

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンターの運営について

当センターは、平成元年に身体に障害をお持ちの方々の日中の過ごし場として開設しました。食事や入浴等の生活をはじめ、日中活動や余暇活動を通して、楽しみや様々な経験を得ていただく機会を持って頂く等、ノーマライゼーションの理念のもとにご利用者の方々がより主体的で豊かな生活を送ることが出来るようサポートしています。また、身体機能の維持や向上に繋がるアプローチも取り入れています。

当施設の収入と支出

＜当事業所の利用者数＞

主に身体障害者 20 名(1 日定員)(登録 26 名)

令和元年度 年間開所日 240 日

令和元年度 延べ利用者数 4,709 人

＜支出＞

総額 0.68 億円

利用者 1 人当たりの運営経費 14,530 円 (A)

人件費 12,130 円	事業費 1,290 円	事務費 840 円	少額修繕費 140 円	その他 130 円
-----------------	----------------	--------------	----------------	--------------

＜収入＞

総額 0.03 百万円

利用者 1 人当たりの
収入 600 円 (B)

総額 0.65 億円

(A) - (B)

利用者負担額 420 円 (3%)	その他の収入 200 円 (1%)
-------------------------	-------------------------

差額 13,910 円 (96%)

市民の税金で負担 (公費で負担)

いずれも概数
10 円単位で四捨五入

○ 国から支給される給付費と市民の負担 (公費負担) により、施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様に納めていただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。